令和9年4月新設　福生第五小学校 自閉症･情緒障害特別支援学級

ひばり学級の命名について



【経緯】

学級の名称は、第五小学校教職員およびコミュニティスクール委員の間で「鳥の名前を付けたい」という共通の思いに基づき決定しました。

第五小学校は、昭和47年2月に東京都の愛鳥モデル校として指定を受けて以来、54年間にわたり愛鳥活動に取り組んでおり、地域においても第五小学校といえば「愛鳥」ということが定着していることから、設置学級にも鳥の名を冠することにしました。

【思い･願い】

ひばりは、かつて第五小学校周辺でもよく見られたものの、近年は数が減少しており、大切に守っていく必要のある鳥です。このことから、一人一人の子どもの個性や可能性を丁寧に見つめ、温かく育んでいきたいという思いを重ねました。

また、ひばりは「雲雀」とも書き、春から夏にかけて空高く舞い上がりながら美しくさえずる姿が特徴です。ひばり学級に在籍する子どもたちにも、自分らしさを大切にしながら、それぞれの力を伸ばし、大きく成長してほしいという願いを重ねています。さらに、ひばりは愛情深く子育てをする鳥としても知られており、教職員が子どもたちに寄り添い、安心して学び生活できる環境を整えながら、温かな愛情をもって支援していきたいと考えています。

今後、在籍する子どもたちが自分らしく輝き、将来に向けて力強く羽ばたいていける学級づくりを進めていくとともに、通常の学級の子どもたちの理解促進にも努めてまいります。



令和8年9月　福生市教育委員会